

## 第2章 基本構想策定に係る地域住民等の意見の把握

基本構想を策定するにあたり、各地区の状況を把握している地域住民等の意見を参考とするため、市内の駅や道路、建築物などの各施設に対する改善要望等について、周辺住民や関係団体の代表者に対しアンケート調査及びヒアリング調査を行いました。

なお、障がい者団体などへは既に同様の調査を実施しており、下記の団体からの意見をもとに令和6年度に策定した「新潟市移動等円滑化促進方針」において内容を整理してきました。

### ○ヒアリング調査(令和5年2月)

- ・(社福)社会福祉協議会
- ・(一社)新潟市老人クラブ連合会
- ・新潟市身体障害者福祉協会連合会
- ・NPO法人ろうあ協会
- ・(社福)新潟県視覚障害者福祉協会

### ○交通事業者アンケート調査(令和5年3月)

- ・東日本旅客鉄道株式会社
- ・新潟交通株式会社
- ・新潟市ハイヤータクシー協会

### (1) アンケート調査

アンケート調査は、令和7年3月～8月にかけて促進方針において移動等円滑化促進地区に設定した全13地区の地域住民および関係団体に対して実施しました。

回答結果を次頁に示します。





表2 アンケート調査結果(2/2)

対象地区	(1) 道路や施設の改善要望						(2) 公共交通の車両や運行の改善要望									自由意見 (バリアフリーに関するものなど主なものを記載)					
	6) 心のバリアフリー						1) 鉄道車両・運行			2) バス車両・運行			3) タクシー 車両・運行								
	① 歩きスマホ無し	② 一般車の障がい者乗降場の使用禁止	③ マークの理解度の向上	④ 歩道の自転車走行への対処	⑤ コミュニケーションの充実	⑥ その他	① 障がい者の介助および周知	② 車椅子使用者のスペース	③ 乗務員の筆談、手話対応	④ 健常者が席を譲る意識	⑤ その他	① ノンステップバスの導入	② 車椅子使用者のスペース	③ 運転士の適切な車内誘導	④ 運転士の筆談、手話対応		⑤ 健常者が席を譲る意識	⑥ その他	① バリアフリー車両の増加	② 運転士の筆談、手話対応	③ その他
新潟万代	●		●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルプマーク、耳マークの理解度を健常者にもっと広め、障がい者ももっと周りの人にアピールをする。</li> <li>車主体ではなく、子供・高齢者など人に優しい町づくりにしたほうが良い。</li> </ul>
万代島		●	●				●		●				●	●				●			
白山駅周辺			●	●			●	●			●	●					●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟市全体に心のバリアフリーの環境や意識の向上が図られることを望む。</li> </ul>
寺尾駅周辺			●	●			●	●			●	●					●	●			
内野駅周辺		●		●			●	●	●		●				●		●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>誘導用ブロックの上が常に空いている状態が必要。特に冬期間の歩道除雪を行い、誘導用ブロックや消火栓は見えるようにしておく必要がある。</li> </ul>
亀田駅周辺	●		●		●		●	●	●		●	●	●		●		●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいの種類によって必要な設備が違うので様々な障がい者団体との意見交換が重要である。</li> </ul>
豊栄駅周辺	●		●				●	●	●		●	●				●		●			<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設へのアプローチとなる歩道の整備が必要である。</li> </ul>
越後石山駅周辺		●			●		●		●			●			●		●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>案内表示板などについて、駅の場所、バス停が分かりにくい。表示を大きく、見やすく、分かりやすくしてほしい。</li> </ul>
古町・本町		●			●						●		●				●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持、改修を徹底してほしい。</li> <li>見守る市民の思いやりも必要である。</li> </ul>
新津駅周辺	●		●		●		●	●	●		●	●			●		●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>困っている障がい者がいたら、手助けをする空気を育てることが大切である。</li> </ul>
南区役所周辺		●																			
新潟大学前駅周辺			●		●		●	●				●	●					●			
巻駅周辺地区		●	●	●			●		●			●		●	●		●	●			
知的障がい者団体	●		●				●	●			●	●					●				
精神障がい者団体	●			●									●	●				●			

意見があった項目を「●」で表示



## (2) ヒアリング調査

ヒアリング調査は、促進方針において移動等円滑化促進地区に設定した13地区のうち、代表する3地区のコミュニティ協議会および関係する障がい者団体などに対して実施しました。

表3 ヒアリング先と実施日時

ヒアリング先		実施日時
地域住民 ・団体	南万代地区コミュニティ協議会 (新潟万代地区)	令和7年3月
	新潟地区コミュニティ協議会 (古町・本町地区)	令和7年3月
	巻地区コミュニティ協議会 (巻駅周辺地区)	令和7年3月
障がい者 団体	新潟地区手をつなぐ育成会 (知的障がい者団体)	令和7年4月
	にいがた温もりの会 (精神障がい者団体)	令和7年4月
高等 特別支援 学校	西蒲高等特別支援学校	令和7年5月
	江南高等特別支援学校	令和7年5月



表4 ヒアリングにおける主な意見

施設等	地域住民・団体			障がい者団体		高等特別支援学校	
	南万代地区コミュニティ協議会 (新潟万代地区)	新潟地区コミュニティ協議会 (古町・本町地区)	巻地区コミュニティ協議会 (巻駅周辺地区)	新潟地区手をつなぐ育成会 (知的障がい者団体)	にいがた温もりの会 (精神障がい者団体)	西蒲高等特別支援学校	江南高等特別支援学校
1. 駅	・特になし。	・特になし。	・巻駅の整備に関しては法に則ったバリアフリー化を進めてもらいたい。 ・駅からバス停まで上屋ができるのでバス案内や時刻表を見やすくしてほしい。	・字が読めない方や音声案内を理解できない方がいるため、ピクトグラム等のわかりやすいイラストで案内表示してほしい。	・特になし。	・巻駅には駅員さんがいるため安心して駅が利用できる。	・各施設で路線や案内版等の色を統一すると知的障がいの方も目印にでき移動円滑化につながる。 ・駅員さんがいないと生徒も保護者も不安なので、登下校の時間だけでもいてくれると安心できる。
2. 道路	・幹線道路は歩道の整備が進み歩行者の安全性が向上、一方、幹線道路以外は歩道が狭く、高齢者や障がい者が移動しにくい。 ・歩道の横断勾配がきつく車椅子使用者や高齢者が辛そうに移動する。 ・歩道内にある街路樹により歩道がでこぼこで歩きづらい。	・横断歩道に水たまりができ、道路の維持管理ができていない箇所がある。 ・すべりやすい道路を減らす工夫が必要である。	・道路幅が狭く、歩車道の区別ができていない。 ・東口のアクセス道路の幅が狭く歩行者が歩きにくい。 ・西蒲区役所前道路の幅が狭く歩車道の区別をわかりやすくしてほしい。	・知的障がい者と手をつないでサポートしながら歩くため、広い歩道の整備が必要である。 ・車椅子使用者が移動しやすくなるよう、道路と歩道の段差解消が必要である。	・道路や公共施設において、煩雑な音声案内やアナウンス等で様々な音があり落ち着かないので深夜や早朝に出かけている。 ・広告等の強い光が街中にあると落ち着かないため、光と色はシンプルにしてほしい。 ・歩道がでこぼこで歩きづらい。	・特になし。	・特になし。
3. 交差点	・交差点での道路と歩道の段差があり車椅子使用者が、自力で乗り越えられない箇所がある。	・横断歩道の除雪を強化し、安心して安全に移動させてもらいたい。	・特になし。	・特になし。	・特になし。	・特になし。	・特になし。
4. 建築物	・地区全体的にここ数年で建物管理者がバリアフリー整備に取り組んでいる印象がある。	・出入口の扉の向こう側が視認でき、安全に出入りができるようにしてほしい。	・古いタイプのエレベーターでは車椅子使用者が回転できない。 ・各施設に多機能トイレが必要である。	・特になし。	・特になし。	・特になし。	・特になし。
5. 駐車場	・特になし。	・特になし。	・ここ数年で整備されている箇所が増えて良い。	・特になし。	・特になし。	・特になし。	・特になし。
6. 公共交通	・特になし。	・停留所のバスの止まる位置が定まっておらず、統一してほしい。 ・停留所の除雪を強化し、安心して安全にバスに乗車したい。	・特になし。	・特になし。	・特になし。	・南区からバスで通う生徒は便数が少なく公共交通が不便と感じている。	・特になし。
7. 心のバリアフリー	・障がい者や高齢者の方への声掛けやサポートを行うか躊躇してしまう。 ・若い方が歩道の段差で困っている車椅子使用者を助けていて教育が進んでいると感じた。	・特になし。	・公衆用トイレ(多機能トイレ)の利用方法がとても悪くモラルの啓発などが必要である。	・ヘルプマーク、耳マーク等が理解されていないため、認知度及び、理解度向上に向けた啓発活動の実施が必要である。	・自転車の乗り方が悪い方が多いため、講習会等を行ってほしい。 ・バス停留所において、ルールを守らず割り込みする人などがいる。	・特になし。	・特になし。
8. その他	—	—	—	・古い施設ではエレベーターが小さく不便である。	・公共施設を整備する際に、案内看板や音声案内について利用者の意見を反映する流れがほしい。 ・精神障害を周知する啓発セミナー等を市主催で行ってほしい。	—	・ピクトグラムを積極的に取り入れてほしい。

